



北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No30
文責 芹川博文
11月29日(金)

「自分が変われば 世界が変わる」

～ 地域学校協働活動推進員の梅田雄二様による家庭教育講演会 ～



- 「興味深いお話がたくさんあって、とてもためになりました。笑顔に関するお話で、笑うことの大切さを実感できました。私は、ポジティブに前向きに考えることが苦手だけど、これからは少しでも前向きになれるように楽しく頑張りたいです。」 1年生感想より
- 「梅田さんの『自分が変われば世界が変わる』という言葉が印象に残りました。いつまでも下を向かず、前を向いて新しい挑戦ができるように頑張っていきたいです。」 2年生感想より
- 「私は学童にいた時に初めて梅田さんに会った時、美味しいお弁当をいただいたことが、強く記憶に残っています。梅田さんや他の地域の方に多くのことを支えてもらっているという事に感謝して、自分も地元で恩返しできるようなことにチャレンジしていきたいと思います。(今は、学童のボランティアくらいですが。) これからも頑張ってください。」 3年生感想より

たくさんの元気をいただきました。生徒たちの表情が輝き、最後の質問の時間には3年生を中心に手が上がりました。トレードマーク?の半袖半ズボン姿について、「この格好だと声をかけてくれる。みんなが覚えてくれる。覚えてくれたら、おじちゃんの勝ち。」と、笑顔で話された梅田さん。Tシャツの背中には、「俺が観光地」の文字が大きく書かれていました。『大変』とは、『大きく変わるチャンス』をもらっている時」という言葉にも、何人もの生徒が「心に響きました」と、感想に書いていました。職場体験の事業所調整をはじめ、日ごろから地域学校協働活動推進員としてお世話になっている梅田さん、「笑顔と元気の充電」、本当にありがとうございました。参加していただいた保護者の皆様もありがとうございました。

中1生が 小6生に家庭学習（自主学習ノート）を「伝授」

～ 6年生が北中に来校 中1生がプレゼン発表と自学ノート回覧で説明 ～

「1年間でこんなに成長するんですね」とは、北小6年生担任の遠山先生の言葉。1か月ほど前、「来年入学する6年生に、家庭学習、特に自主学習ノートの使い方について教えてほしい」と小学校から依頼があり、1年生にお願いしたところ5名の生徒が快く引き受けてくれたとのことでした。

当日は思わぬ荒天で、歩いて来られるのか心配しましたが、遅しく来校した小6生も興味津々で中1生の話聞き、自学ノートを食い入るように見っていました。

翌日、「早速、約10名の児童が、中学生のノートを真似して自学ノートを出してきました」とのこと。4か月後は北中に入学してくる現北小6年生。北中1年生も、「2年生の先輩」になります。

